



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月28日

上場会社名 アークランドサービスホールディングス株式会社
 コード番号 3085 URL <http://www.arclandservice.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼井 健一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部部长 (氏名) 桑原 康弘

TEL 03-5217-1531

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

2020年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	16,696	5.0	1,987	8.7	2,035	7.0	1,190	2.2
2019年12月期第2四半期	15,901	9.9	2,177	9.8	2,189	9.2	1,217	4.1

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,269百万円 (0.1%) 2019年12月期第2四半期 1,267百万円 (2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	37.40	36.34
2019年12月期第2四半期	38.25	37.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	32,362	21,167	63.8	648.87
2019年12月期	29,064	20,444	68.4	624.25

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 20,656百万円 2019年12月期 19,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		12.00		12.00	24.00
2020年12月期		12.00			
2020年12月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	14.0	4,080	9.1	4,100	9.6	1,800	29.3	56.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	33,096,000 株	2019年12月期	33,096,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,261,445 株	2019年12月期	1,261,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	31,834,560 株	2019年12月期2Q	31,834,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあったものの、米中貿易摩擦による国際経済情勢の不安定化や消費税率の引き上げ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う急速な社会情勢の変化により、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する外食業界におきましても、不要不急の外出自粛、大規模イベント等の自粛要請や営業時間の短縮等の呼びかけに伴う消費マインドの悪化により、厳しい情勢が続いております。

こうした状況の中、当社グループは「食のインフラ」として安心・安全な商品の提供を継続するため、既存事業の商品力の強化、出店促進、新業態の開発、店舗におけるQSCAの維持・向上、人材の確保と教育の強化に取り組んでまいりました。

かつや(国内)におきましては、7回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。その結果、1～6月の既存店売上高前年比は直営店において98.2%、FC店において98.8%で推移いたしました。また、既存店4店舗で改装を実施いたしました。

出退店につきましては、直営店1店舗・FC店5店舗の出店とFC店3店舗の閉店により、当第2四半期末の店舗数は純増3店舗の409店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)におきましては、6回のフェアメニューと1回のキャンペーンの実施と新規出店による売上拡大に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、「からやま」直営店2店舗・FC店7店舗の出店、「からあげ縁」直営店1店舗・FC店3店舗の出店とFC1店舗の閉店により、当第2四半期末の店舗数は純増12店舗の122店舗となりました。

また海外事業におきましては、「かつや」直営店1店舗、「かつや」「からやま」「野菜を食べるカレーcamp」FC店7店舗の出店及び「かつや」「野菜を食べるカレーcamp」FC店3店舗の閉店により、当第2四半期末の店舗数は純増5店舗の70店舗となりました。

その他の事業の出退店につきましては、直営店6店舗の開店と直営店2店舗・FC店2店舗の閉店、また、当連結会計年度より株式会社ミールワークスが当社グループとなったことで「マンゴツリー」「ダンシングクラブ」など37店舗が加わり、当第2四半期末の店舗数は純増39店舗の66店舗となりました。

以上の結果、第2四半期末の総店舗数は純増59店舗の667店舗となりました。当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,696百万円(前期比5.0%増)、営業利益1,987百万円(前期比8.7%減)、経常利益2,035百万円(前期比7.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,190百万円(前期比2.2%減)となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は19,649百万円となり、前連結会計年度末の21,259百万円から1,610百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が2,877百万円減少し、売掛金が190百万円、商品及び製品が171百万円、その他が815百万円増加したためであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は12,713百万円となり、前連結会計年度末の7,805百万円から4,908百万円増加いたしました。その主な要因は、有形固定資産が2,164百万円、のれんが2,205百万円、敷金及び保証金が501百万円増加したためであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は6,682百万円となり、前連結会計年度末の5,393百万円から1,289百万円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が1,100百万円、未払金が219百万円増加したためであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は4,512百万円となり、前連結会計年度末の3,227百万円から1,285百万円増加いたしました。その主な要因は、社債が99百万円、長期借入金770百万円、資産除去債務が163百万円増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は21,167百万円となり、前連結会計年度末の20,444百万円から722百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,190百万円の計上がありました。また、配当金382百万円を支払ったためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して2,877百万円減少し、15,481百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,208百万円(前期比20.2%減)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2,006百万円があったものの、法人税等の支払額788百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,732百万円(前期比628.1%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出596百万円、貸付けによる支出2,520百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出701百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、348百万円(前期比16.4%増)となりました。

これは主に、配当金の支払額382百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響の見通しが立たず適正かつ合理的な算定が困難なため、2020年4月28日に未定として公表しておりました2020年12月期の業績予想を、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,358	15,481
売掛金	1,959	2,149
商品及び製品	266	438
原材料及び貯蔵品	84	178
その他	596	1,412
貸倒引当金	△6	△11
流動資産合計	21,259	19,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,182	5,411
機械及び装置(純額)	203	300
土地	-	724
その他(純額)	83	196
有形固定資産合計	4,469	6,633
無形固定資産		
のれん	66	2,272
その他	29	46
無形固定資産合計	96	2,319
投資その他の資産		
投資有価証券	529	435
繰延税金資産	406	485
敷金及び保証金	2,028	2,530
長期貸付金	140	117
その他	133	204
貸倒引当金	-	△12
投資その他の資産合計	3,239	3,760
固定資産合計	7,805	12,713
資産合計	29,064	32,362
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,921	1,783
短期借入金	800	1,900
未払金	289	509
未払費用	722	844
未払消費税等	278	204
未払法人税等	820	813
賞与引当金	-	71
株主優待引当金	94	113
その他	465	442
流動負債合計	5,393	6,682
固定負債		
社債	2,010	2,110
長期借入金	-	770
受入保証金	784	822
資産除去債務	418	582
繰延税金負債	-	103
その他	13	124
固定負債合計	3,227	4,512
負債合計	8,620	11,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,932	1,932
資本剰余金	1,889	1,889
利益剰余金	16,128	16,936
自己株式	△79	△79
株主資本合計	19,870	20,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	-
為替換算調整勘定	△10	△22
その他の包括利益累計額合計	2	△22
非支配株主持分	571	510
純資産合計	20,444	21,167
負債純資産合計	29,064	32,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,901	16,696
売上原価	7,520	8,024
売上総利益	8,381	8,671
販売費及び一般管理費	6,203	6,683
営業利益	2,177	1,987
営業外収益		
受取利息	4	4
リベート収入	7	7
協賛金収入	12	8
持分法による投資利益	-	0
雑収入	12	30
営業外収益合計	37	52
営業外費用		
持分法による投資損失	18	-
為替差損	5	2
雑損失	1	1
営業外費用合計	25	4
経常利益	2,189	2,035
特別利益		
店舗譲渡益	18	-
投資有価証券売却益	-	14
特別利益合計	18	14
特別損失		
固定資産除却損	8	4
店舗閉鎖損失	86	9
減損損失	26	29
その他	3	-
特別損失合計	125	43
税金等調整前四半期純利益	2,082	2,006
法人税、住民税及び事業税	802	785
法人税等調整額	△27	△73
法人税等合計	775	712
四半期純利益	1,306	1,294
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,217	1,190

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,306	1,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△12
為替換算調整勘定	△16	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△3
その他の包括利益合計	△39	△24
四半期包括利益	1,267	1,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,178	1,166
非支配株主に係る四半期包括利益	89	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,082	2,006
減価償却費	216	226
のれん償却額	35	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	66	71
固定資産除却損	8	4
店舗閉鎖損失	86	9
減損損失	26	29
店舗譲渡益	△18	-
持分法による投資損益 (△は益)	18	△0
受取利息	△4	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	63	147
たな卸資産の増減額 (△は増加)	109	71
その他の資産の増減額 (△は増加)	84	53
仕入債務の増減額 (△は減少)	△343	△452
その他の負債の増減額 (△は減少)	△85	△209
その他	17	7
小計	2,363	1,994
利息の受取額	2	2
法人税等の支払額	△852	△788
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,513	1,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△320	△596
投資有価証券の取得による支出	△117	-
投資有価証券の売却による収入	-	146
貸付けによる支出	-	△2,520
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△55	△701
敷金及び保証金の差入による支出	△121	△72
敷金及び保証金の回収による収入	45	13
店舗譲渡による収入	18	-
その他	36	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	△3,732
財務活動によるキャッシュ・フロー		
預り保証金の受入による収入	29	47
預り保証金の返還による支出	△2	△8
配当金の支払額	△318	△382
その他	△7	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299	△348
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	695	△2,877
現金及び現金同等物の期首残高	15,869	18,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,565	15,481

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。